

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 多摩市立諏訪小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒206-0024  
東京都多摩市諏訪5丁目13番地

E-mail kawai-marie@city.tama.tokyo.jp

Website <http://schit.net/tama/essuwa/>

児童生徒数 男子 123名 女子 122名 合計 245名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

国語、社会科、理科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動、道徳、音楽、図画工作、体育、そして、食育、環境教育の教科・領域などにおいて、「身に付けさせたい力・態度」として次の3点を掲げ、取り組んだ。

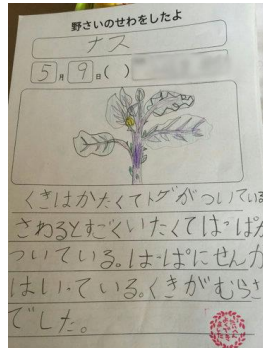
- ・ものごとを思慮深く考え、判断する力。
- ・コミュニケーションを行う力。
- ・他者と協力する態度や他者とのつながりを尊重する態度。

【第1学年】⇒生活科「幼小交流会もうすぐ2年生」



もうすぐ入学する幼稚園児達と手をつなぎ、グループごとに小学校の中を案内して回った。案内後、用意していた手作りのおもちゃをプレゼントし、遊び方を教えながら一緒に遊んだ。未就学児と触れ合うことで、温かく思いやる気持ちを養うとともに、次年度進級することへの気持ちを高めることができた。

【第2学年】⇒生活科「めざせ野さい作り名人」



年間を通して野菜作りに取り組むことで、様々な野菜の成長に、触れることができた。世話をしたり、観察カードをかいて発表したりすることで、成長の様子に関心をもち、変化に気付くことが出来た。また、収穫した野菜を描いたり持ち帰って食べたりすることで、収穫の喜びや野菜への関心をより高めることが出来た。

【第3学年】⇒総合的な学習の時間「大豆博士になろう」・理科・国語・食育



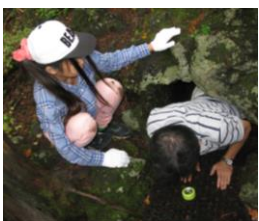
大豆の栽培や大豆を使用した料理の調べ学習、大豆の加工食品であるとうふ作りなど、年間を通して大豆に関わる学習を理科・国語・総合的な学習の時間において連携させながら取り組んだ。豆腐屋さんを招いての豆腐作りでは、大豆が姿を変えて豆腐になることを体験する喜びを味わい、国内自給率5%の国産大豆を100%使用したことや消泡剤を使わないことの大変さを知ることによって、日本の食文化や食の安心・安全についての意識を高めることができた。

【第4学年】⇒「ひとときの和」・国語「誰もがかわりあえるように」



障がい者の方々と児童・教師・保護者が一緒に集う場を作り、交流体験を行った。身体・視覚・聴覚に障害のある人達から日常生活の様子や困っていることなどの話を聞き、障害を体験するコーナーでは実際に点字・手話・車椅子を体験することで、障がい者の方々への理解を深め、共に手を取り合って生きていくことの大切さを学ぶことができた。

【第5学年】⇒総合的な学習の時間「ふじの二日間」



富士山周辺に行くにあたり、富士山・胎内樹形・紅葉台・世界遺産センター・高速道路・こどもの国・紙漉きなど様々なことを分担ごとに調べてまとめ、発表できるように暗記し、準備した。調べたことを現地で発表し、お互いの情報を共有した。また、樹海や根場では胎内樹形や紙漉きの体験活動を行い、理解を深めることが出来た。

【第6学年】⇒図工「未来予想図」・総合的な学習の時間「6年生のハローワーク」



本校では卒業式の呼びかけで、将来の自分のなりたい姿を一人一人が発表することが伝統的に行なわれている。卒業式を見据え、総合的な学習の時間と連携して図工でも未来の自分を考える題材に取り組んだ。タブレットで目指す職業の服装や仕事の様子などを調べることで、漠然としたイメージがクリアになり、細部まで工夫して作ることが出来た。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）